



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社リニカル
コード番号 2183 URL <https://www.linical.com/ja/>
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 秦野 和浩
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CFO (氏名) 高橋 明宏 TEL 06-6150-2582
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無： 有
決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	2,926	△5.0	△66	—	△47	—	△82	—
2024年3月期第1四半期	3,082	7.4	112	—	168	87.5	3	△95.4

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 287百万円 (△31.4%) 2024年3月期第1四半期 419百万円 (△7.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	△3.64	—
2024年3月期第1四半期	0.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第1四半期	18,984	8,183	43.1	362.32
2024年3月期	18,539	8,235	44.4	364.60

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 8,183百万円 2024年3月期 8,235百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	0.00	—	16.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,669	2.9	1,009	39.0	1,047	32.5	697	106.1	30.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の連結業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期1Q	24,740,000株	2024年3月期	24,740,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	2,153,564株	2024年3月期	2,153,564株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期1Q	22,586,436株	2024年3月期1Q	22,586,436株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の経営成績は、米国が前年同期比で大幅な増収となったことに加え、欧州も増収となる一方で、日本・アジア地域が前年同期比で大幅な減収となったことにより、連結の売上高は2,926百万円（前年同期比5.0%減）となりました。利益面では、上記の結果、米国が前年同期比で大幅な増益となったことに加え、欧州も営業黒字化した一方で、日本・アジア地域が営業赤字となったことにより、66百万円の営業損失（前年同期は112百万円の営業利益）となりました。経常損失は47百万円（前年同期は168百万円の経常利益）となりました。親会社株主に帰属する四半期純損失は82百万円（前年同期は3百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

次に、各地域の状況は下記のとおりです。

日本においては、受注獲得が想定通りに進まなかったことに加え、前期に複数の既存案件の中止や期間短縮の契約変更が発生したことによる当期売上への影響もあり、前年同期比で減収となりました。また、利益面でも上記の理由から営業赤字となりました。日本の製薬業界では各社で早期退職募集が相次ぐなど構造改革が進み厳しい市場環境が続いていますが、当社では欧米およびアジア事業と連携し、海外バイオテックに対して日本市場への進出を提案するなどの営業活動を粘り強く継続しています。また製販後の医薬品調査や医師主導の臨床研究を担う育薬事業では引き合いが増加傾向にあり足元では新規案件の獲得が進んでいます。

米国においては、受注した業務が想定通り進捗し順調に売上高を計上していることに加え、追加作業発生による契約変更等もあり、前年同期比で大幅に増収増益となりました。なお、現在米国のバイオテック企業等から複数案件の受注内諾を受け契約手続きを進めており、また、その他にも複数案件の打診を受けこれらの案件獲得に向け交渉を継続しております。引き続き米国CRO市場の深耕に注力し、持続的な成長を図ってまいります。

欧州においては、既存案件の契約変更や円安の影響もあり、前期比で増収、営業黒字化しました。米国事業との連携を推し進めたことにより、営業面でシナジーを発揮しつつあり、新規案件の受注獲得も進みつつあります。営業人員の採用による体制の強化を進めており、欧州を含むグローバル案件の拡大に注力してまいります。

韓国においては、既存案件の契約変更による売上金額の減少に加え複数案件の進捗遅れにより、前年同期比で大幅な減収となりました。また、この結果、利益面でも営業赤字となりました。

中国においては、新規獲得案件の本稼働の遅れや既存案件の終了に伴う売上減少等により前年同期比で減収、営業赤字となりました。しかしながら上記新規試験の稼働が本格化すれば黒字化する見通しです。

台湾においては、新規案件の獲得に苦戦し、前期に発生した既存案件の中止や案件の終了の影響等を穴埋めすることができず前年同期比で減収、営業赤字が拡大しました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①CRO事業

当社グループのCRO事業につきましては、売上高は2,733百万円（前年同期比5.5%減）、営業利益は445百万円（同28.4%減）と減収減益となりました。

②育薬事業

当社グループの育薬事業につきましては、売上高は193百万円（前年同期比1.7%増）、営業利益は26百万円（同30.3%減）と増収減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ444百万円（2.4%）増加し、18,984百万円となりました。これは、主に立替金が増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比べ495百万円（4.8%）増加し、10,800百万円となりました。これは、主に前受金及び預り金が増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比べ51百万円（0.6%）減少し、8,183百万円となりました。これは、主に円安により為替換算調整勘定が増加したものの、剰余金の配当により利益剰余金が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

① 概要

当第1四半期連結累計期間において、当社の経営戦略の現状と見通しについて重要な変更はありません。引き続き、当社グループは受託業務の選択と集中を推し進め、既存のCROとの差別化を図ってまいります。

2025年3月期通期の業績予想につきましては、本年5月15日に発表いたしました内容に変更はありません。

② 受注残高の推移

当社グループのCRO事業において受託する治験業務では、1年から3年程度の治験実施期間において、症例数や対象疾患に起因する治験の難易度などにより受託総額が決定します。この実施期間についてクライアントと委受託契約を締結し、契約に従い売上が発生します。育薬事業においても、同程度の期間についてクライアントと委受託契約を締結し、契約に従い売上が発生します。

受注残高は、既に契約を締結済みの受託業務の受注金額の残高であります。これは、今後1年から5年程度の期間で発生する売上高を示しており、当社グループの今後の業績予想の根拠となる指標であります。

表. 受注残高の推移

(単位：百万円)

	2024年 3月期末 (A)	2025年3月期		増減率% (B-A)/A
		第1四半期末	2024年8月 14日時点 (B)	
受注残高	12,188	12,665	12,520	2.7
地域 別	日本	3,877	3,772	△4.7
	アメリカ	3,221	4,194	21.8
	ヨーロッパ	3,655	3,383	△3.5
	アジア	1,434	1,315	△4.2

各地域の受注状況につきましては、以下のとおりです。

日本・アジア地域においては、特に日本の製薬業界で構造改革が進み厳しい市場環境が続いており、受注獲得が想定通りに進まなかったことから、2024年3月期末から受注残高が減少しました。日本・アジア事業と欧米事業が連携し、海外バイオテックに対して日本・アジア市場への進出を提案するなどの営業活動を粘り強く継続してまいります。

米国においては、新規案件の契約締結や工数増加の契約変更による受注残高の積み上げの結果、2024年3月期末から受注残高が増加しました。また、上記受注残高には含まれない複数の契約締結作業中の新規案件がある他、引き続きバイオテックからの引き合いは多く、複数のグローバル案件等の打診を受けており、受注残高を積み上げるべく、営業活動を継続しております。

欧州においては、新規案件の受注獲得や工数を増加する契約変更等もありましたが、既存の受注案件を消化し売上高を計上した結果、2024年3月期末から受注残高が減少しました。一方で、米国事業との連携を推し進めたことにより新規案件の受注獲得が進みつつあり、また、上記の受注残高には含まれない複数の契約締結前の案件があります。営業面でグローバル・シナジーをさらに強化することで、米国企業からの欧州を含む新規案件の受注獲得を拡大してまいります。

以上の受注環境のもと、2024年8月14日時点の受注残高は2024年3月期末と比較して2.7%増の125億円となっております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,465,192	7,404,407
売掛金及び契約資産	3,463,780	3,269,485
前払費用	255,432	230,012
立替金	1,265,542	1,597,645
その他	320,723	502,103
貸倒引当金	△21,895	△23,019
流動資産合計	12,748,776	12,980,635
固定資産		
有形固定資産	518,770	510,325
無形固定資産		
のれん	3,547,866	3,668,741
その他	117,467	116,923
無形固定資産合計	3,665,333	3,785,665
投資その他の資産		
投資有価証券	272,198	282,638
長期前払費用	1,382	3,609
差入保証金	384,805	388,436
繰延税金資産	948,648	1,033,020
投資その他の資産合計	1,607,034	1,707,704
固定資産合計	5,791,138	6,003,695
資産合計	18,539,915	18,984,331

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	600,000	600,000
1年内返済予定の長期借入金	493,640	458,648
未払金	847,585	772,986
未払費用	349,336	363,197
未払法人税等	264,241	370,448
未払消費税等	22,481	8,807
前受金	2,521,964	2,921,624
預り金	2,271,085	2,624,497
賞与引当金	199,310	97,010
その他	199,240	130,843
流動負債合計	7,768,885	8,348,065
固定負債		
長期借入金	1,499,950	1,399,948
リース債務	304,677	294,940
退職給付に係る負債	704,710	730,498
その他	26,671	27,362
固定負債合計	2,536,008	2,452,749
負債合計	10,304,894	10,800,814
純資産の部		
株主資本		
資本金	214,043	214,043
利益剰余金	7,315,200	6,894,108
自己株式	△657,461	△657,461
株主資本合計	6,871,781	6,450,689
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25,631	33,264
為替換算調整勘定	1,287,406	1,652,665
退職給付に係る調整累計額	50,201	46,897
その他の包括利益累計額合計	1,363,239	1,732,827
純資産合計	8,235,021	8,183,516
負債純資産合計	18,539,915	18,984,331

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	3,082,097	2,926,473
売上原価	2,134,705	2,202,142
売上総利益	947,392	724,331
販売費及び一般管理費	835,339	790,941
営業利益又は営業損失(△)	112,052	△66,610
営業外収益		
受取利息	3,991	14,842
為替差益	58,688	8,581
営業外収益合計	62,680	23,423
営業外費用		
支払利息	4,536	4,253
投資有価証券評価損	1,759	504
営業外費用合計	6,296	4,758
経常利益又は経常損失(△)	168,436	△47,945
特別損失		
事業構造改善費用	104,293	—
特別損失合計	104,293	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	64,142	△47,945
法人税、住民税及び事業税	64,897	74,796
法人税等調整額	△4,287	△40,446
法人税等合計	60,609	34,350
四半期純利益又は四半期純損失(△)	3,532	△82,295
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	3,532	△82,295

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	3,532	△82,295
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,324	7,632
為替換算調整勘定	421,036	365,258
退職給付に係る調整額	△2,202	△3,303
その他の包括利益合計	415,509	369,587
四半期包括利益	419,042	287,292
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	419,042	287,292

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	CRO事業	育薬事業	計		
売上高					
日本・アジア	1,413,357	187,384	1,600,742	—	1,600,742
米国	788,130	—	788,130	—	788,130
欧州	690,630	2,594	693,224	—	693,224
顧客との契約から生じる収益	2,892,118	189,979	3,082,097	—	3,082,097
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,892,118	189,979	3,082,097	—	3,082,097
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,892,118	189,979	3,082,097	—	3,082,097
セグメント利益	622,800	37,527	660,327	△548,275	112,052

(注) 1. セグメント利益の調整額△548,275千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 収益の分解情報である地域ごとの売上高は、サービスの提供地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	CRO事業	育薬事業	計		
売上高					
日本・アジア	952,634	185,702	1,138,336	—	1,138,336
米国	1,041,936	—	1,041,936	—	1,041,936
欧州	738,631	7,567	746,199	—	746,199
顧客との契約から生じる収益	2,733,202	193,270	2,926,473	—	2,926,473
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,733,202	193,270	2,926,473	—	2,926,473
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,733,202	193,270	2,926,473	—	2,926,473
セグメント利益	445,868	26,153	472,021	△538,631	△66,610

(注) 1. セグメント利益の調整額△538,631千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3. 収益の分解情報である地域ごとの売上高は、サービスの提供地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)
減価償却費	38,484千円	42,720千円
のれんの償却額	81,719	94,160